

科目名	老年看護学実習 (Clinical Practice in Gerontological Nursing)			科目コード	219
開講学科	看護学科	選択区分	必修	単位数(時間)	3単位(135時間)
科目区分	専門科目	履修時期	3年次後期又は 4年次前期	関連DP	看①②③
担当教員	永井 さつき、田中 昭子、西森 旬恵				
実習内容	加齢及び機能障害が高齢者の日常生活に及ぼす影響を理解し、日常生活援助やリハビリテーションによって、その人らしく生き生きと生活できるような看護が実践できる能力(知識・技術・態度)を養う。また、これらの援助を通して、高齢者を総合的にとらえ、生活の質に焦点を当て、高齢者自身の持てる力で維持・向上できる能力への支援方法や自立に向けた支援の方法、家族へのケア、他職種との連携、多様な高齢者ケアの場における看護の機能を学ぶ。				
実習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康レベルに応じたコミュニケーションをとることができ、高齢者やその家族と良い人間関係を形成することができる。 2 加齢および疾病・傷害に伴う身体・精神機能の変化、また心理的・社会的側面の情報が収集できる。 3 情報を科学的根拠に基づいてアセスメントし、その人らしく生活するために必要な援助の方向性が把握できる。 4 対象に応じた生活を実現するための看護計画を立案し、計画に沿った看護を実施しながら評価、修正ができる。 5 老年看護におけるチームケアの必要性和看護の機能が理解できる。 6 多様な高齢者ケアの場の実際と看護の役割と機能が理解できる。 7 老年看護における倫理感を高めることができる。 				

授業計画

実習内容	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習場所：伊予病院2～4階の一般内科病棟もしくは回復期リハビリテーション病棟、老人保健施設伊予ヶ丘3～4階の療養棟、いずれかの病棟もしくは療養棟に分かれて実習する ※3週間のうち1日はグループホーム伊予の郷で実習する(1日3～4名) ※各病棟・療養棟への配置については、実習開始前に周知する 2. 実習期間：3週間 3. 実習時間：原則として、8:30 - 16:30 4. 実習展開：詳細は実習要綱を参照 	
成績評価方法	自己評価表(100点)の項目について、実習内容および到達度、実習態度を点数化し評価する。
教科書	老年看護対象論、老年看護方法論、臨床病態学Ⅳで使用したもの
参考図書等	堀内ふき他「ナーシンググラフィカ老年看護学①高齢者の健康と障害」(メディカ出版) 堀内ふき他「ナーシンググラフィカ老年看護学②高齢者看護の実践」(メディカ出版) 亀井智子編「根拠と事故防止から見た老年看護技術」(医学書院)
授業時間外の学習について	実習時間は体験することを重視し、実習記録は主に実習時間外で行う。
関連科目	2年前期「217 老年看護対象論」「156 臨床病態学Ⅳ」「244 ふれあい実習」 3年前期「218 老年看護方法論」
備考	実習までに準備するものは、夏休み前にお知らせしますので、各自で準備してください。